事業実績シート

1　事業の概要

<table>
<tr><td>協会事業名</td><td colspan="4">□コミュニティ活性化支援事業　□定住促進事業　□地域特産品需要拡大支援事業
☑国際交流支援事業　□長崎県防災航空隊常駐化支援事業</td></tr>
<tr><td>自治体(団体)
事業名</td><td colspan="4">五島市　「カザンラック民族舞踊団との交流事業」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">所管局部課</td><td>自治体（団体）名</td><td>所管部・課名</td><td>担当者名</td><td>連絡先（ＴＥＬ）</td></tr>
<tr><td>五島市</td><td>市長公室</td><td>久保　源輝</td><td>0959-72-6127</td></tr>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="4">開始年　平成２５年４月１日　（　２年目）</td></tr>
<tr><td>事業実施手法</td><td colspan="4">□全部直営　☑一部委託　□全部委託　□その他[　　]</td></tr>
<tr><td>実施期間</td><td colspan="4">【交流会実施期間】（開始日）２６年９月９日　（完了日）　２６年９月１０日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">委託した場合の
委託内容</td><td colspan="2">委託先機関名</td><td>担当者名</td><td>連絡先（ＴＥＬ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">株式会社　グローバルアリーナ</td><td>ゲトフ　ステファン</td><td>0940-33-8400</td></tr>
<tr><td colspan="4">（委託内容）
・カザンラック民族舞踊団の五島市への招へい
・市内各小中学校への訪問及び交流会の実施</td></tr>
<tr><td rowspan="2">助成事業の目的
※住民視点を踏まえて記載してください。</td><td colspan="2">対象（誰を・何を）</td><td colspan="2">意図（どういう状態にしたいのか）</td></tr>
<tr><td colspan="2">・市内各小中学校の児童・生徒
・地域住民</td><td colspan="2">外国人との交流や文化に触れる機会を与え、お互いの文化や生活習慣への理解を深め、国際社会に貢献する豊かな人間形成を目指す。</td></tr>
<tr><td>助成事業の具体的内容
※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。</td><td colspan="4">毎年、福岡県宗像市で開催されている「ブルガリアフェスティバル」に出演している「カザンラック民族舞踊団」を五島市へ招へいし、市内の小中学生を対象とした交流会を開催した。
平成２６年度は、山内小学校、富江小学校、奈留小中学校を訪問し、児童生徒、地域住民を含め約４５０名の参加があった。
交流会では、同舞踊団によるブルガリア民族の披露や、生徒との輪踊りを実施した後、各学校からの踊りや歌を披露した。
また、山内小学校及び奈留小中学校では、舞踊団と生徒が一緒に給食を食べて、交流を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業開始の背景、これまでの経緯及び現状</td><td colspan="4">（事業開始の背景）
五島市総合計画基本構想において、「しまの多様な文化やスポーツを通して、人が輝く社会づくり」を目標に掲げ、市民一人ひとりが外国文化を理解・尊重し、外国籍市民にやさしいまちとなる状態を目指すために、国際理解教育を充実し、国際交流の活性化を進めている。</td></tr>
<tr><td colspan="4">（経緯・現状）
外国人と触れ合う機会があまりない市内のこどもたちのために、大勢の外国人との交流の場を与えるため。</td></tr>
</table>

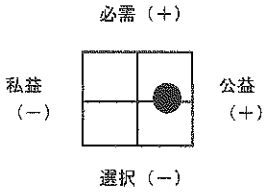
事業実績シート

2　実績結果

	事業費の推移	前々年度決算	前年度決算	当該年度決算
	事業費（円）		１１６，７８０円	１，０７８，８９３円
（財源内訳）	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	市町振興共同事業助成金			８６３，１１４円
	一般財源		１１６，７８０円	２１５，７７９円

成果（活動）指標		指標名	指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	外国人との交流人口		人	目標			400
					実績			450
				目標達成率（%）				100
	②				目標			
					実績			
				目標達成率（%）				

3　事業の振り返り

必要性の点検	（１）公共性評価		
	（公益性） ☑広く社会に利益をもたらすサービス ☐特定の個人又は集団のためのサービス ☐上記以外の中間的なサービス	（必需性） ☐住民生活に必要不可欠なサービス ☐住民生活に必要不可欠ではないサービス ☑上記以外の中間的なサービス	
	（２）行政関与の妥当性評価	（３）廃止又は休止した場合の影響	
	妥当性低い　妥当性高い （－）　０　（＋） 	（影響内容、程度等）	

事業実績シート

4　有効性の点検、効率性の点検

<table>
<tr><td rowspan="5">有効性の点検</td><td colspan="2">（１）成果（活動）指標の達成状況</td><td>（左記結果となった理由）</td></tr>
<tr><td colspan="2">☑成果（活動）指標の実績値は、目標をほぼ達成した
☐成果（活動）指標の実績値は、目標を下回った</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（２）成果（活動）指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地</td></tr>
<tr><td>☐工夫の余地はない
☑工夫の余地がある
実施予定期　日</td><td></td><td>（工夫の内容・工夫の余地がない理由）
生徒数の多い学校で交流会を行う。
ただし、あまり大きい学校になると、生徒一人ひとりが触れ会う機会が少なくなるため、今後も小規模の学校を中心に交流事業を実施したい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">（３）類似事業との統合</td><td>（統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由）</td></tr>
<tr><td colspan="2">☐類似する事業と統合可能
☐類似する事業はあるが、統合不可能
☑類似する事業はない</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">効率性の点検</td><td colspan="2">（１）民間委託化等の妥当性評価</td><td>（具体的内容）</td></tr>
<tr><td colspan="2">☐民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある
☑民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない</td><td>国際理解教育を充実させるために、行政が担うべき事業であるため。</td></tr>
<tr><td colspan="2">（２）受益者負担の適正化等による歳入確保</td><td>（判断理由と可能な歳入確保内容）</td></tr>
<tr><td colspan="2">☐既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み
☐受益者負担の見直し等で歳入確保は可能
☑受益者負担の見直し等での歳入確保は困難</td><td>こどもたちに大勢の外国人と触れ合うことのできるきっかけづくりとして本事業を実施しており、市としても財源確保に苦慮しているため。</td></tr>
</table>

5　今後の方向性

<table>
<tr><td rowspan="2">必要性の点検から</td><td>☐事業休止</td><td>☐事業廃止</td><td>☐民営</td><td>☐事業終了（完了）</td><td rowspan="2">☑現状維持</td></tr>
<tr><td>実施（予定）時期</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">有効性の点検から</td><td colspan="2">☐サービス水準低下</td><td colspan="2">☐サービス水準向上</td><td>☐類似事業との統合</td><td rowspan="2">☑現状維持</td></tr>
<tr><td>実施予定時期</td><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">効率性の点検から</td><td>☐委託化</td><td>☐非常勤化</td><td>☐受益者負担の見直し</td><td colspan="2">☐広告料収入等の新たな歳入の確保</td><td rowspan="2">☑現状維持</td></tr>
<tr><td>実施予定時期</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>具体的内容</td><td colspan="6">今後も引き続き、ブルガリアフェスティバル開催時にカザンラック民族舞踊団を招へいし、市内小中学校を訪問してもらい、引き続き交流会を実施したい。
また、交流会だけでなく、こどもたちに外国人を更に身近に感じてもらうために、舞踊団とのレクレーション等も新たに実施したい。</td></tr>
</table>